

「2025年ダイヤ改正等について」提案を受ける！

特急の1人乗務等により車掌要員18名削減

地本は本日（12月24日）千葉支社より、表題の事案について提案を受けました。関係分会は提案等の内容を検討し、職場要求等の集約をお願いします。

1 実施内容

(1) 房総特急の乗務体制見直し

実施箇所 千葉統括センター、茂原統括センター蘇我乗務ユニット、木更津統括センター、成田統括センター佐倉乗務ユニット

- ・基本1名乗務。

(2) 業務執行体制の見直し

実施箇所 茂原統括センター鴨川乗務ユニット

(3) 茂原統括センター鴨川乗務ユニット業務執行体制の見直しに伴う行路見直し

実施箇所 千葉統括センター、茂原統括センター蘇我乗務ユニット

- ・鴨川乗務ユニットの車掌行路を千葉乗務ユニットと蘇我乗務ユニットへ移管する。

(4) 乗務線区の見直し

実施箇所 茂原統括センター蘇我乗務ユニット、木更津統括センター

- ・蘇我乗務ユニットは、内房線は上総湊以遠の乗務を見直す。外房線は一ノ宮から鴨川間のローカルを担当する。

- ・木更津乗務ユニットは、特急の乗務を取り止める。また、蘇我乗務ユニットから木更津乗務ユニットへ行路移管をする。

(5) 臨要員の見直し

実施箇所 木更津統括センター

- ・車掌の臨要員2名を削減する。

(6) 成田エクスプレスの車掌担当区所拡大

実施箇所 千葉統括センター

(7) 京葉線運転士一部行路の移管

実施箇所 船橋統括センター

- ・蘇我乗務ユニットから船橋乗務ユニットへ1日勤移管

(8) 車掌一部行路の車内補充券発行機（POS）携行取りやめ

実施箇所 千葉統括センター、茂原統括センター蘇我乗務ユニット、木更津統括センター、成田統括センター佐倉乗務ユニット、成田統括センター銚子乗務ユニット

- ・特急乗務の無いローカル担当行路（久留里線除く）はPOSの携行をやめる。

(9) 労働時間の見直し

① 運転士の運転状況報告の見直し

実施箇所 全統括センター乗務ユニット

- ・状況報告書の作成が不要の時は、口頭で「異常なし」と報告。運転士、車掌共に現行より整理時間2分マイナス。

② 一部行先地における労働時間の見直し

実施箇所 船橋統括センター、津田沼統括センター、千葉統括センター、茂原統括センター蘇我乗務ユニット、成田統括センター佐倉乗務ユニット

③ 入出区作業箇所の追加

実施箇所 船橋統括センター

- ・東京レールセンター、京葉SS車両の大宮総合車両SSへの臨時の入出場回送

④安房鴨川駅での入換時分見直し

実施箇所 茂原統括センター鴨川乗務ユニット

- ・鴨川での入換作業を2人体制から1人体制とする。

2 諸元（速報値）

ダイヤ改正規模（速報値） +73.0キロ

- (1) 乗務員乗務キロ及び労働時間 — 省略
- (2) 準備時間一覧表 — 省略

3 実施日

2025年3月15日（土）

4 その他

必要な教育・訓練は実施する。

5 要員体制

区 所		現行				改正			
		変形等	交代	乗務員		変形等	交代	乗務員	
				日勤	泊			日勤	泊
船橋 統括センター	管理	13	7			13	7		
	一般	13	26	26	35	13	26	27▲1	35
千葉 統括センター	管理	14	5			14	5		
	一般	16	22	31	54	16	22	33+2	55+1
茂原 統括センター	管理	15	10			14▲1	10		
	一般	14	17	37	53	13▲1	17	35▲2	49▲4
木更津 統括センター	管理	13	6			13	6		
	一般	8	11	20	20	8	11	18▲2	20
成田 統括センター	管理	25	10			25	10		
	一般	16	15	52	52	16	15	50▲2	51▲1

6 その他説明事項

委託業務の一部見直しについて

JR千葉鉄道サービス株式会社に委託している業務について、一部内容の見直しを行う。

1 対象業務

安房鴨川駅構内で実施する出区点検及び入出区作業

2 実施時期

2025年3月15日（土）

提案時のやり取り

(組合) 千葉もNEXを担当するようだが乗務範囲は。

(会社) 現行通り東京までである。

(組合) 房総特急は基本1名乗務ということだが、複数乗務する列車もあるのか。

(会社) わかしおは、平日1053M東京・蘇我間、平日休日共に1058M一宮・蘇我間、土休日1064M一宮・蘇我間、しおさいは、土休日4001M千葉・成東間、平日休日共に4003M東京・佐倉間、4008M平日は成東・佐倉間、土休日は成東・東京間に改札行路を設定する。

(組合) 臨時列車は。

(会社) ゴールデンウィーク、お盆、年末年始のご利用実態の多いところに設定していく。新宿わかしお新宿・千葉間、新宿さざなみ新宿・千葉間である。

(組合) 2人乗務体制にする判断基準何か。
(会社) ご利用状況、発券枚数を見て判断している。
(組合) ご利用状況とは具体的に何か。
(会社) 8割、9割の乗車、列車によってはほぼ満席という状況。
(組合) 平日に2人乗務の列車は、ほぼ満席なのか。
(会社) 満席まではいかないが、座席未指定券が比較的多い列車。
(組合) 12月21日に1066Mは鴨川・東京間で40枚発売した。22日は1064M 鴨川・蘇我間で20枚発売したが、そういう数字は把握しているのか。
(会社) 調査をし、必要な列車、区間を選定した。
(組合) 改札担当を一宮・蘇我間としているが、一宮までが大変だ。特急券を持っていない人は先頭車に乗ってしまう。
(会社) 改正後も見直しを図っていく。
(組合) 調整席は車掌に近い方に設定できないか。
(会社) 要望は承った。
(組合) 先頭車でのドア扱いはないか。
(会社) 考えていない。
(組合) 全車両回れなかった際の乗車人員報告はどうするのか。
(会社) できる範囲でやってもらえれば良い。
(組合) NEXの中間運転台でのドア扱いはどのような理由でやっているのか。
(会社) 12両なので回り切れないとの声が多かったためである。
(組合) 今回の1人乗務も車掌に負担がかかる。
(会社) 土休日の不慣れなお客さまはお買い求めいただいていない実態があることは認識している。どういう対応をしていくかという課題はあるが、今回1人乗務可能という判断をした。
(組合) 特急停車駅でMVが設置されていない駅があるが今後、設置する予定の駅はあるか。
(会社) 今のところ無い。

(組合) 鴨川乗務ユニットの車掌の異動先はどのように決まっていくのか。
(会社) 秋の自己申告書による面談をやった。その内容を踏まえ調整中である。
(組合) 車掌から駅への異動はあり得るのか。
(会社) 一般的には可能性としては否定しない。全て希望通りとはならないが、考慮しつつ検討している。
(組合) 面談は1回だけか。
(会社) エルダーの方については引き続き調整させていただいている。
(組合) 再度やった方が良くはないのか。
(会社) 11月にやってそれから期間が経っているので、お伝えすることがあれば、お伝えすべきかと思う。コミュニケーションをとっていく。
(組合) 丁寧にやってほしい。
(組合) エルダーと一般の車掌の異動の考え方は同じか。
(会社) エルダーのできる仕事は決めている。
(組合) 鴨川乗務ユニットの車掌は乗務員しかできないのか。
(会社) 今の雇用契約で言うと基本的には乗務員ということになる。
(組合) 今回の異動も同じ考え方か。
(会社) エルダーの就労条件が伴うのでより丁寧にやっている。決定まで時間はかかる。
(組合) 事前通知についてだが、船橋乗務ユニットへはかなり早く出したが、鴨川の車掌は従来どおりか。
(会社) 本社を含め調整中である。

(組合) 整理時間を見直すようだが、状況報告書の記入時間はどう見ているのか。
(会社) 例えば、遅れて到着後、歩いて帰区、状況報告書作成、終了点呼となる。実際の終了点呼の時刻が所定終了点呼時刻を過ぎていればその時間が超勤となる。
(組合) 現場では終了点呼した時刻ではなく、列車遅延の時間を超勤として整理しているのではないのか。
(会社) 所定終了点呼時刻よりどれくらい過ぎたかということになる。しっかり把握するようにする。

(組合)折返し時間の算定が違っていた所があるのか。

(会社)首都圏本部、八王子、大宮、千葉支社で同じ線区、同じ駅を使っている、一部算定時間の考え方の違う区所があったので、首都圏本部に合わせる。千葉支社は到着後ドア閉めを付加時間で入れているが、他は積算時間で入っていた。システム上の違いだが、今回一覧表の項目が1段増えている。八王子支社は三鷹と府中本町、大宮支社は東所沢と南越谷、首都圏本部は中野、新宿、御茶ノ水、東京。こちらの駅は次期改正からドア閉めを「終始」として積算項目とする。

(組合)千葉支社の「終始」という意味は3/4扱いだが。

(会社)首都圏は3/4がないのでドア閉めで使っていた。首都圏の駅で「終始」を使ってドア閉めの時間を積算で入れる。

(組合)千葉支社も終着のドア閉めを積算で入れるのか。

(会社)千葉支社の乗務員が首都圏本部などに行ったときの項目としてである。逆に首都圏本部の車掌が千葉に乗り入れた場合は、ドア閉めに関しては千葉支社のルールに則って「付加」で入れる。

以 上